

議会報告会報告書

令和7年2月28日

小田原市議会議長
大川 裕 様

報告者 議会広報広聴常任委員長
鈴木 和宏

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日 時	令和6年10月30日（水曜日）午前9時20分 ～ 午後2時45分			
場 所	小田原市役所 議場			
出席者	稲 永 朝 美	中 野 正 幸	小 谷 英次郎	池 田 彩 乃
	角 田 真 美	加 藤 仁 司		
参加人数	117名（豊川小学校6年生児童108名、担任教諭9名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学・議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

<主な質疑等について>

<p>【質疑】 小田原市の予算はどのくらいですか</p> <p>【回答】 令和6年度当初予算は、総額で約1977億円です</p>
<p>【質疑】 誰の為に仕事をしていますか</p> <p>【回答】 当然、市民のためです</p>
<p>【質疑】 どのような市が良い市だと思いますか</p> <p>【回答】 皆さんが思っている「良い市」ができることが「良い市」だと思います</p>
<p>【質疑】 市議会議員になって大変だったことは何ですか</p> <p>【回答】 市民からの要望で意見が分かれてしまい、一つにまとめることが大変だったことです</p>
<p>【質疑】 特に力を入れて取り組んでいることは何ですか</p> <p>【回答】 差別のない社会を現実することです</p>
<p>【質疑】 議員になろうとしたきっかけは何ですか</p> <p>【回答】 幼少の時の経験から恩返しができればと思ったことがきっかけです</p>
<p>【質疑】 どのような会議に報道席はありますか</p> <p>【回答】 一部の会議を除き、報道席はあるので、取材可能となっています</p>
<p>【質疑】 主にどのような話し合いをしていますか</p> <p>【回答】 飲み水やごみ、防災や教育など皆さんの生活に身近な問題について議論しています</p>
<p>【質疑】 議会で一番時間がかかった話題は何ですか</p> <p>【回答】 私が議員になってからはそんなに遅くなったことはありませんが、以前、議長を決める話し合いで夜中までかかったことがあると聞いています</p>
<p>【質疑】 小田原市の良い所は何ですか</p> <p>【回答】 海・山・川に囲まれていて自然が豊かで、食べ物がおいしく、気候も温暖で人もあたたかいところです</p>
<p>【質疑】 選挙期間中大変だったことは何ですか</p> <p>【回答】 街中に自分の顔のポスターが貼られたり、マイクで自分の名前を言ったりするのが、最初は慣れずに大変でした</p>
<p>【質疑】 議員になって楽しかったことは何ですか</p> <p>【回答】 大変なことも沢山ありますが、基本的には楽しく仕事をしています。議場見学会を通して、小学生の皆さんと交流出来ることも楽しいことの一つです</p>
<p>【質疑】 どんな市にしたいですか</p> <p>【回答】 小田原市には色々な人が生活しています。年齢や性別、国籍、障がいの有無に関わらず安心して暮らせるまちにしたいです</p>
<p>【質疑】 議場を建てた時の金額はいくらですか</p> <p>【回答】 現在とお金の価値が異なりますが、昭和51年時点で、議場も含めた市役所庁舎全体の建設費用としては約47億円でした</p>

<p>【質疑】 何人で会議をしていますか</p> <p>【回答】 本会議に基本的に議員全員が参加しますが、委員会は8人から9人程度に分かれて会議を行います</p>
<p>【質疑】 市議会で話し合われたことは市にどう影響していますか</p> <p>【回答】 市長が提案したことに議員が意見を出し、修正したものが市全体に反映されます。具体的にはこれから紙おむつ、給食の無償化など出てくるので、見ていてください</p>
<p>【質疑】 学校の建て直しをどうしていきますか</p> <p>【回答】 小田原産木材を使ったリニューアルなど、学校の老朽化による建て直しは今まさに計画が始まったばかりです</p>
<p>【質疑】 これまで大変なことはどのようなことですか</p> <p>【回答】 色々ありましたが、選挙で当選するのも大変でした。最近で言えば、昨年末のごみ置き場の場所を変えるのが大変でした</p>
<p>【質疑】 選挙の時にどう思いましたか</p> <p>【回答】 とにかく緊張して「当選しなければ」と思っていました。選挙事務所で「頑張って」との声に励まされました</p>
<p>【質疑】 一日の間に良くすることは何ですか</p> <p>【回答】 家にいる時は家庭の主婦でもあるので、炊事・洗濯・買い物・料理などしています。議会の時は議会に集中します。市民相談もしています</p>
<p>【質疑】 どうして市議会議員になったのですか</p> <p>【回答】 小田原で育っている中で母親が子育てで苦勞している姿など、「ここがこうだったらいいな」を実現したいと思ってなりました</p>
<p>【質疑】 市民の願いをかなえる方法はどのようにしていますか</p> <p>【回答】 願いも様々あり、大きなものとして「平和な小田原にする」には平和について話し合う会を開くなどあると思います。また、小さな願いとして地域のごみのステーションの場所を変えるために、建設業者と市の環境部とかけあい、実現した例もあります</p>
<p>【質疑】 どのような施設を造ってきましたか</p> <p>【回答】 これまで大きなものとしては、小田原の三の丸ホールやハルネ小田原、ミナカ小田原の中の小田原駅東口図書館などがあります。学校もそうです</p>
<p>【質疑】 どんな時にやりがいを感じていますか</p> <p>【回答】 自分自身や賛同する市民の意見が行政や他議員の意見と違う場合に、討論の場で自分の思いや気持ちを述べることにやりがいを感じているところです</p>
<p>【質疑】 一番大切に思っていることは何ですか</p> <p>【回答】 個人的に言えば家族ですが、議員の立場ではやはり小田原の住民が安全に安心して暮らせることが大切なことです。地域で防犯活動しているのも犯罪等で不安な思いをする方がなくなるよう願っています</p>
<p>【質疑】 少子高齢化の現状をどう思いますか</p> <p>【回答】 つくづく感じるのは、地元小学校入学生の減少、自分の住む所では地域の七五三の人数が減ったことです。高齢化も施設に待機者が出ていることで実感しています。解決策として、出生率を上げてもらえないと思っています</p>
<p>【質疑】 市議会議員になって人生で影響を受けたと思う事は何ですか</p> <p>【回答】 恐らく議員全員にも言えるかも知れませんが、自分一人だけの考えだけでなく、その意見に賛同してくれている多くの方々の励ましで仕事ができるのだと実感しています</p>
<p>【質疑】 私達も議員になれますか</p> <p>【回答】 もちろんなれます。自分も「地盤」、「看板」、「かばん」はなくても議員になれました。要は必ず勝つとの信念です</p>

【質疑】 市の予算を決める時に気を付けることは何ですか

【回答】 予算自体は行政側が提案し、それを議会が審議するのですが、やはり暮らしやすい市にさせる予算となっているかの観点に気を付けています

【質疑】 市の予算の内訳は何ですか

【回答】 令和6年度当初予算は1977億円で、一般会計は765億です。子ども子育てに95億円、脱炭素移行に13億円、災害対策10億円、それ以外様々なものがあります

【質疑】 小田原市議会はいつできたのですか

【回答】 1940年（昭和15年）12月20日です

【質疑】 今後取り組みたいことは何ですか

【回答】 差別のない社会を実現するために具体的に組み組んでいきたいです

【質疑】 会議の長さはどれくらいですか

【回答】 5分位から12時間位までです